いろんな動物に形容詞形があった

北見医師会
北見赤十字病院
菅（すが）　理晴（みちはる）

大学や国立循環器病センターで研究の仕事をしていたときに、bovine albumin（牛アルブミン）やmurine monoclonal antibody（マウスモノクローナル抗体）などの英語から動物にも形容詞形があることを知りました。そこで当時実験に使っていた動物の形容詞形を調べてみたところ、Pig／Swineはporcine、Dogはcanine、Monkeyはsimian、Goatはcaprine、Rabbitはleporineといった具合にそれぞれに形容詞形があることが分かりました。なお、Ratには固有の形容詞形はなくMouseもRatもネズミとしてmurineが形容詞形となるようですが、論文などでmurineといった場合には通常Mouseのことを言い、RatはそのままRatを形容詞としても使うようです。

北海道でメジャーな動物の形容詞形ですとBearはursine、Deerはcervine、Horseはequine、Squirrelはsciurine、Whaleはcetaceanとなります。また動物園や水族館の人気者の形容詞形ではLionがleonine、Tigerがtigrine、Dolphinがdelphine、Orca／Killer whaleがorcineです。まだまだ調べれば多くの動物に形容詞形があるようです。

これらの形容詞形は主にラテン語やギリシャ語から派生しており、文語的な硬い表現となるため日常的に使われることはほとんどなく、学術論文や専門書などで使用される程度です。英語のnative speakerでも生物学や動物学などを研究している人以外はまず使うことはないと思われますし、一般的にはpig farmやdog foodのように動物の名詞形を形容詞的に使っています。

ということで、取り立てて知る必要もないトリビアでした。

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。ぜひともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

1．原稿の締切

毎月５日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。

できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

2．原稿の体裁と字数制限

⑴　原則として横書きといたします。
⑵　引用文以外は、すべて常用漢字、現代かなづかいを使用してください。
⑶　誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
⑷　１回の掲載紙面は、原則として「学術投稿」は２頁、**「会員のひろば」は１頁**を限度とします。医報１頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。
⑸　長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

3．原稿の訂正、返却

次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。
⑴　特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
⑵　匿名の投稿
⑶　本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの（二重投稿）
　　ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
⑷　その他掲載に支障がある内容

4．ホームページへの掲載

特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661　FAX 011-241-3090
E-mail：ihou@m.doui.jp